

地震を測る

地震が発生すると、それぞれの場所のゆれの大きさを表わす「震度」が気象庁より発表されます。気象庁の「震度」は、地面の上の動きを表した値です。しかし、「震度」だけでは、建物や地面の中(地下)がどのくらいの大きさで、どの様にゆれたのかは、分かりません。

国総研では、いろいろな場所で地震を測り、地震に強い橋や道路をつくる研究をしています。

クイズ

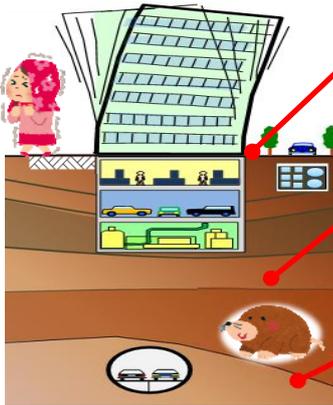
●地震の大きさ

「どっちが大きい？」

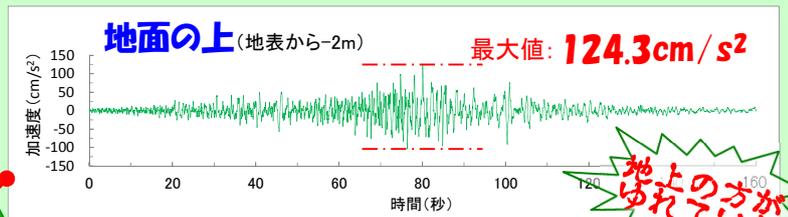
大きいのは、**地面の上！！**
(人間の方が大きなゆれを感じている)

大きいのは、**地下！！**
(モグラの方がこわい思いをしている)

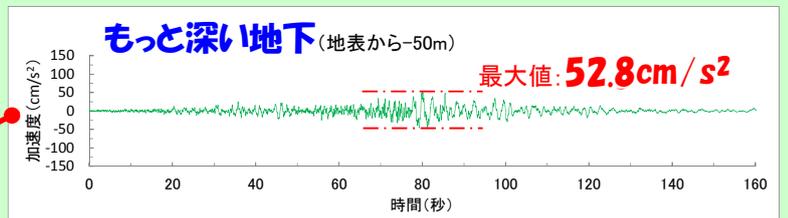
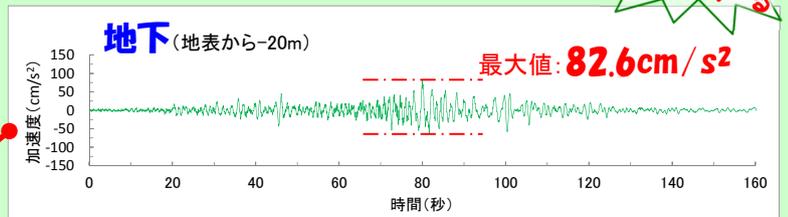
答え



平成23年3月11日(東北地方太平洋沖地震)
小田原市での加速度※記録



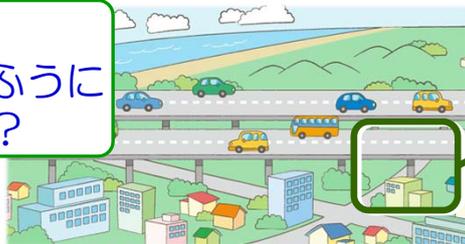
地上の方がゆれている



※加速度(cm/s²): 地震によるゆれの大きさを表す値

●橋のゆれを測る

地震の時、橋はどんなふうにゆれている？



平成23年3月11日(東北地方太平洋沖地震)
山田高架橋(岩手県山田町)での加速度※記録

